和牛種雄牛の産肉能力検定（現場後代検定法）

大林康信[1]，藤森祐紀，大川清充[2]，笹沼清孝

Progeny Test of Sire in Japanese Black Cattle

Yasunobu OBAYASHI・Yuuki FUJIMORI・Kiyotaka OHKAWA and Kiyotaka SASANUMA

要　約

直接検定に合格した県内産候補種雄牛３頭（舞花桜，神北正，北国関７）について，(社)全国和牛登録協会が定める和牛種雄牛産肉能力検定法（現場後代検定法）に基づく肥育試験を実施し，うち２頭（舞花桜，神北正）について産肉能力を育種価により評価した。その結果，枝肉重量，バラの厚さ，脂肪交雑の育種価が優れる舞花桜を選抜した。

キーワード：和牛，種雄牛，現場後代検定，舞花桜，神北正，北国関７

緒　言

産肉能力検定（直接法）により選抜された県内産候補種雄牛について，遺伝的に産肉能力の優れた種雄牛を選抜するため，（社）全国和牛登録協会の定める産肉能力検定法（現場後代検定法）に基づき検定した。

材料および方法

1　検定種雄牛

直接検定で選抜された県内産候補種雄牛「舞花桜」，「神北正」，「北国関７」の３頭。

2　肥育場数　２場

茨城県畜産センター肉用牛研究所

全国農業協同組合連合会茨城県本部傘下農場

3　調査牛頭数

舞花桜：15頭（去勢8頭・雌7頭）

神北正：16頭（去勢9頭・雌7頭）

北国関７：16頭（去勢7頭・雌9頭）

4　導入，出荷時期

概ね８か月齢で導入し，去勢は生後29か月齢未満，雌は32か月齢未満で出荷した。

5　調査項目

(社)日本食肉格付協会が実施した牛枝肉格付結果を用いた。

表１　飼料の配合割合と成分（重量比，％）

穀類	そうこう類	植物性油かす類	その他	粗蛋白	ＴＤＮ
49	42	7	2	13以上	73以上

6　飼料給与及び飼養管理

各肥育場の慣行法によった。

当場においては，濃厚飼料は市販のものを使用した。成分は表１のとおりであった。

粗飼料については，乾草と稲わらを給与した。乾草はチモシーを導入後６か月間不断給与し，それ以降は給与しなかった。稲わらは導入後４か月経過後に給与し始め，２か月間は濃厚飼料と混合給与し，それ以降は分離給与とした。

１牛房にあらかじめ除角した去勢と雌を混飼し，敷料にはおがくずを使用し，適宜交換した。削蹄は年に２回実施した。

結果および考察

1　検定終了牛の概要

1)　舞花桜（まいはなさくら）

平成13年７月８日生

黒13558（82.4）

父　　：平茂勝

母の父　：安福１６５の９

遺伝病　：全てマイナス

調査頭数：15頭で1頭除外

1　現　茨城県県北総合事務所畜産振興課

2　現　茨城県立農業大学校

2）　神北正（かみきたまさ）
平成14年１月14日生
黒13561（81.1）
父　　：北国７の８
母の父　：安栄
遺伝病　：すべてマイナス
調査頭数：16頭で1頭除外

3）　北国関７（きたぐにぜき７）
平成14年５月９日生
黒原4420（83.3）
父　　：平茂勝
母の父　：北国７の８
遺伝病　：すべてマイナス
調査頭数：16頭で1頭除外

2　枝肉成績

各候補種雄牛の枝肉成績は表２，表３，表４のとおりである。

枝肉重量は舞花桜464.6kg，神北正436.0kg，北国関７461.7kgと良好であり，脂肪交雑を示すBMSNo値も舞花桜5．0，神北正5．7，北国関７7.2と良好であった。

また，育種価評価結果は表５のとおりである。北国関７については終了時期の関係で育種価算出は平成20年４月を予定している。

選抜の目安である県基準値と比較して，舞花桜は枝肉重量，バラの厚さ，脂肪交雑が優れていると考えられた。

3　種雄牛の選抜

茨城県肉用牛育種改良推進協議会専門部会における検討の結果，舞花桜は種雄牛として選抜され，神北正は種雄牛として選抜されなかった。

北国関７については育種価算出後専門部会において協議を行う予定である。

表２　舞花桜の現場後代検定結果

検定番号	性	母の父	母の母の父	枝肉重量 kg	ロース芯面積 cm²	バラ厚 cm	皮下脂肪厚 cm	歩留基準値 %	脂肪交雑 BMSNo	脂肪交雑 等級	格付	瑕疵等
1	去勢	金幸	神高福	483.5	46	8.2	3.4	71.8	5	4	B-4	
2	去勢	金幸	金徳	516.5	58	8.5	2.5	74.0	8	5	A-5	
3	去勢	北国７の８	紋次郎	587.0	56	11.0	1.8	75.1	8	5	A-5	
4	雌	亀山萩	谷福６	437.0	47	8.5	3.4	72.7	3	3	A-3	
5	雌	義福晴	北国７の８	463.5	54	9.0	2.8	74.1	3	3	A-3	
6	雌	明光４	福桜	516.5	56	9.3	2.5	74.2	6	4	A-4	
7	去勢	福桜	糸秀	検定除外								
8	去勢	北国７の８	安福165の9	461.0	46	7.3	2.1	72.6	10	5	A-5	
9	去勢	久菊６	友田の７	458.0	40	7.4	1.9	72.1	3	3	A-2	
10	去勢	東平茂	糸清水	493.0	68	7.4	1.9	75.3	5	4	A-3	
11	去勢	糸清水	金山	520.0	48	6.8	1.5	72.3	4	3	A-3	
12	雌	谷福６	中包	448.0	67	7.3	1.8	75.8	5	4	A-4	
13	雌	美幸福	糸光	346.0	50	6.3	2.7	73.3	4	3	A-3	
14	雌	北国７の８	森正	426.0	48	7.1	2.2	73.1	3	3	A-3	
15	雌	菊義鶴	谷福６	348.0	34	6.0	1.4	72.3	3	3	A-2	
平均	全体			464.8	51.3	7.9	2.3	73.5	5.0	3.7		
	去勢			502.7	51.7	8.1	2.2	73.3	6.1	4.1		
	雌			426.4	50.9	7.6	2.4	73.6	3.9	3.3		

表３　神北正の現場後代検定結果

検定番号	性	母の父	母の母の父	枝肉重量 kg	ロース芯面積 ㎠	バラ厚 cm	皮下脂肪厚 cm	歩留基準値 %	脂肪交雑 BMSNo	脂肪交雑 等級	格付	瑕疵等
1	去勢	第４光吉	谷福６	489.5	55	7.8	2.8	73.1	3	3	A-2	
2	去勢	東萩	長谷川	473.5	60	8.8	1.8	75.6	5	4	A-3	
3	去勢	北国７の８	谷福６	407.5	53	7.0	2.0	74.1	4	3	A-3	
4	去勢	平茂勝	北国７の８	478.5	58	8.8	2.0	75.0	6	4	A-4	
5	雌	平茂勝	北国７の８	473.0	48	9.2	3.0	73.2	6	4	A-4	
6	雌	美華福	金幸	494.5	66	8.2	2.0	75.5	10	5	A-5	
7	去勢	谷福６	亀継２	324.0	48	6.2	1.0	74.8	3	3	A-2	瑕疵カ
8	去勢	美津福	北国７の８	393.0	49	7.5	2.1	74.0	7	4	A-4	瑕疵カ
9	去勢	平茂勝	紋次郎	467.0	52	8.4	2.2	74.0	8	5	A-5	
10	去勢	北国７の８	菊谷	検定除外								
11	去勢	菊谷	安美金	419.0	56	6.9	1.5	74.7	4	3	A-3	
12	雌	明光４	亀継２	470.0	73	7.7	2.5	75.9	6	4	A-4	
13	雌	安福５７	糸福	385.0	43	7.1	2.3	73.0	8	5	A-5	瑕疵エ
14	雌	明光４	東平茂	347.0	47	6.3	1.7	73.9	4	3	A-3	
15	雌	谷福６	富士	400.0	48	6.1	2.3	72.6	4	3	A-3	瑕疵カ
16	雌	明光４	北国７の８	518.0	62	7.8	5.8	71.0	7	4	B-4	
平均	全体			436.0	54.5	7.6	2.3	74.0	5.7	3.8		
	去勢			431.5	53.9	7.7	1.9	74.4	5.0	3.6		
	雌			441.1	55.3	7.5	2.8	73.6	6.4	4.0		

表４　北国関７の現場後代検定結果

検定番号	性	母の父	母の母の父	枝肉重量 kg	ロース芯面積 ㎠	バラ厚 cm	皮下脂肪厚 cm	歩留基準値 %	脂肪交雑 BMSNo	脂肪交雑 等級	格付	瑕疵等
1	去勢	糸晴波	安福165の9	387.5	55	8.2	1.4	75.9	6	4	A-4	
2	去勢	明光４	高栄	507.5	69	9.0	2.5	75.8	10	5	A-5	
3	雌	北国７の８	賢晴	387.0	53	7.7	1.8	75.0	5	4	A-4	
4	雌	高栄	英美	442.0	55	8.3	1.6	75.2	6	4	A-4	
5	雌	金幸	平茂勝	402.0	44	8.2	3.5	72.4	5	4	B-3	
6	雌	久菊６	賢晴	486.0	68	8.7	2.5	75.7	7	4	A-4	
7	去勢	安福５７	金徳	496.0	52	8.5	2.1	73.7	11	5	A-5	
8	去勢	明光４	神高福	475.0	59	9.0	2.5	74.9	9	5	A-5	
9	去勢	美津福	賢晴	475.0	58	7.9	3.5	73.1	9	5	A-5	
10	去勢	福桜	糸晴	553.0	64	9.3	3.7	73.7	7	4	A-4	
11	去勢	美津福	糸福	516.0	63	8.2	3.4	73.6	9	5	A-5	
12	雌	北国７の８	糸光	482.0	65	9.2	3.8	74.6	4	3	A-3	
13	雌	明光４	福桜	検定除外								
14	雌	茂勝	北国７の８	409.5	56	8.0	1.8	75.3	3	3	A-2	
15	雌	美華忠	平茂勝	460.5	61	9.6	1.5	76.7	8	5	A-5	
16	雌	北国７の８	忠福	447.0	59	7.7	2.0	74.8	9	5	A-5	
平均	全体			461.7	58.7	8.5	2.5	74.7	7.2	4.3		
	去勢			487.1	60.0	8.6	2.7	74.4	8.7	4.7		
	雌			439.5	57.6	8.4	2.3	75.0	5.9	4.0		

表５　現場後代検定結果の育種価評価（平成20年３月推定）

	枝肉重量 kg	ロース芯面積 ㎠	バラ厚 cm	皮下脂肪厚 cm	歩留基準値 %	脂肪交雑 BMS
県平均	404.541	49.490	7.253	2.642	73.233	1.132
県基準値	+14.718	+5.994	+0.341	-0.588	+1.390	+1.278
舞花桜	+67.178	+2.481	+0.625	-0.248	+0.132	+1.414
神北正	+13.248	+6.333	+0.143	-0.207	+0.941	+1.621

注：県基準値は県有４種雄牛の育種価の平均値で選抜の目安である。